

決定的な新証拠を提出! 今こそ狭山闘争の勝利をかちとろう!

提起・平沼和典さん (全国水平同盟事務局長)



平沼和典事務局長

昨年8月、狭山裁判の弁護団は東京高裁に新証拠を提出した。非破壊検査の専門家である下山進博士が、被害者の持ち物とされ石川さん宅への3度目の家宅捜索で鴨居(かもい)から発見された万年筆が偽物であることを科学的に証明した鑑定だ。

警察・検察が50年間隠し持っていた被害者のインク瓶が2013年7月、ついに開示された。そして、被害者の使っていたライトブルーのインクが「ジェットブルー」という名の商品であることが特定された。

下山博士が精査・検証したところ、違うインクに入れ替えた場合でも前に入れてあったインクの成分が検出されることが明らかになった。荏原第一鑑定ではジェットブルーのインク成分がまったく検出されていない。万年筆は被害者が使っていたものではなかったことが完全に証明された。

「犯人しか知り得ない所から発見されたから石川さんが犯人だ」という万年筆発見の筋書きは、下山鑑定によって完全に崩れた。石川さんは無実だ。

2月2日、全国水平同盟は東京高裁包囲デモに立ち上がった。石川一雄さんと感動的な合流を実現した。資本による分断攻撃と闘う部落解放闘争の路線と方針をもって、狭山闘争の勝利を今こそ切り拓こう。多くの皆さんの参加を呼びかけます。



団結して闘おう!

4月27日(木)午後7時~8時半

◆午後6時半からDVD上映します。
「狭山事件の真相」「2・2闘争の記録」

エルおおさか本館5階研修室2

地下鉄谷町線・京阪電車「天満橋」下車
西へ300メートル

